

鳥取市環境審議会（令和7年度第1回） 議事録

1. 日 時 令和7年5月28日（水） 13：30～15：30
2. 場 所 リンピアいなば多目的室1
3. 出席者
 委 員：吉永委員（会長）、石本委員（副会長）、山田委員、田中委員、広沢委員、
 大谷委員、佃委員、松田委員、国森委員
 事務局：山根局長、池原課長補佐、田中雅係長、岡本主任
4. 審議事項
 (1) 一般廃棄物処理手数料の制度について
 (2) 可燃ごみの処理について（施設見学を含む）
5. 議事録署名委員選出 広沢委員、大谷委員
6. 議事概要 以下のとおり（注：発言内容は一部要約して掲載しています）

| 発言者 | 発言内容 |
|--------------|---|
| 事務局 | 令和7年度第1回鳥取市環境審議会を開会します。委員総数14名中、出席委員数9名で過半数以上となり、鳥取市環境審議会条例の規定に基づき、本日の会議は成立することを報告します。 では、開会にあたりまして、吉永会長にご挨拶いただきます。 |
| 吉永会長 | お忙しい中、ご出席ありがとうございます。 今年度は、次年度以降の一般廃棄物処理費用、いわゆるごみ袋の料金等について審議を行い、答申を策定することになっています。審議を行うにあたり、まずは一般廃棄物がどのように処理されているか、いくら費用がかかっているのかなど把握する必要がありますので、今回はその理解を深めるため、視察も含めリンピアいなばでの開催としております。よろしくお祈いします。 また、今年4月に、リチウムイオン電池等の適正処理について、各市町村で対応するようとの趣旨の通知が環境省から出されました。昨今、リチウムイオン電池等を原因とする火災事故が頻発しており、消費者の認識不足、生産者による回収が徹底できていない現状などが背景となっているようです。鳥取市では廃棄方法について周知を行い回収しているところですが、今後、本審議会において審議する可能性もある旨ご承知おきください。 |
| 事務局 | ここからは、議長の吉永会長に進行をお願いします。 |
| 吉永会長 | まず、議事録署名委員を選出します。名簿順に、広沢委員と大谷委員にお願いしたいと思います。 |
| 広沢委員 大谷委員 | 了解。 |
| 吉永会長 | それでは、一般廃棄物処理手数料の制度について、事務局より説明をお願いします。 |
| 事務局 | <一般廃棄物処理手数料の制度について資料1に基づき説明> |
| 吉永会長 | 令和3年度から令和6年度にかけては、人口が減少し、それに伴いごみ総排出量も減少していますが、一人あたりや家庭あたりの排出量はあまり減少しておらず、頭 |

| 発言者 | 発言内容 |
|------------|---|
| | 打ちというような状況でしょうか。 |
| 事務局 | 失礼いたしました。資料1の5ページ目、参考に掲載しました令和3年度のごみ排出量について、一部数値が間違っておりますので、後ほど訂正してお伝えいたします。資料についても差し替えさせていただきます。 |
| 吉永会長 | 承知しました。令和3年度から令和6年度にかけて、一人あたりや家庭あたりの排出量も減少傾向にあるということですね。 一般廃棄物処理の有料化の目的は、あくまでごみの総量を削減することですから、ある意味功を奏しているわけですが、値段を決めるということは、これからさらにごみの量を減らすのか、現状を維持していくのか、という判断であると思います。環境意識自体は、皆さんある程度持っているという前提で考えていかないといけません。 |
| 石本副会長 | 先ほど、一般廃棄物処理の有料化は、あくまでごみ減量化の動機づけという説明をいただきましたが、やはりごみ袋の製造過程においては、原材料費や人件費、流通関係費等も含めたコストが発生しており、市の歳出入にも影響してくることと思います。ごみ処理手数料の検討にあたっては、こういった製造コスト、排出コスト等についても考慮しながら検討する余地があるのでしょうか、それともそういった面は考慮せず目的だけにフォーカスして検討をすれば良いのでしょうか。 |
| 事務局 | ごみ袋の有料化制度自体が、ごみ総排出量の減量化を目的としてスタートしておりますので、コスト等は考慮せず、目的達成に向けてというところに注力してご検討いただければと思います。 |
| 吉永会長 | 実際のところ、一般的にはごみ収集・処理に要する費用の10%を有料ごみ袋の価格とするなど自治体の基準があったと思います。 |
| 事務局 | 本市では、ごみ袋の価格は、ごみ処理費用の10%とする考え方がございましたが、実際、本市はごみ袋売上額の方が多く、コスト面では20%の利益となっております。 |
| 吉永会長 | 見込みより10%利益が出ているということになります。ただ、今後処理費用がかさんでいけば、利益差が縮まっていき、10%を切れれば受益者負担ということでごみ袋の値上がりを検討することになるのではないのでしょうか。 |
| 事務局 | ごみ袋の製造コスト等、財源面を踏まえて考えるとそうなりますが、やはり、それよりもまずは住民の皆様の生活をということがありますので、ごみ減量化という目的に照らして、ご検討いただければと思います。 |
| 吉永会長 | 一方で、ごみ袋売上の利益が出ているのであれば、ごみ袋料金を値下げして市民生活に還元を、という意見もあるかと思えます。 いろいろな背景やご意見等を踏まえて、本審議会でご検討いただければと思います。 |
| 吉永会長 | では次に、可燃ごみの処理について、鳥取県東部広域行政管理組合の瀬村様より説明をお願いします。 |
| 東部広域行政管理組合 | <可燃ごみの処理について資料2に基づき説明> |

| 発言者 | 発言内容 |
|------------|--|
| 石本副会長 | リンピアいなばの余剰電力はカーボンニュートラル電力とありますが、どういう意味でしょうか。 |
| 東部広域行政管理組合 | リンピアいなばの可燃ごみ処理過程で得られる余剰電力は、二酸化炭素が出ない電気ということです。二酸化炭素を排出しない、或いは排出された二酸化炭素を吸収・除去することで実質的な排出をゼロとすることをいい、当然、可燃ごみ処理において二酸化炭素は出ているわけですが、国の制度上の定義に従うと、リンピアいなばで得られる余剰電力はカーボンフリーということになります。 |
| 事務局 | <p><資料1の訂正について報告></p> <p><ごみ処理費用の算出方法について補足：リンピアいなば、東部環境クリーンセンター等にかかる処理費用及び各地域のごみステーションでの収集・運搬にかかる費用を足し上げたもの。></p> |
| 吉永会長 | では、議事の内容を踏まえて、これからリンピアいなばの施設見学を行います。 |
| | ～施設見学～ |
| 吉永会長 | 今後、ごみ袋の料金等、一般廃棄物処理手数料を検討していくにあたり、直接には関係ないかもしれませんが処理費用や効率、そして一番大事なのは今後の人口減を見据えた持続可能な運営、環境への配慮などの視点も含めて議論していくことが必要だと思います。今後議論を進めていくにあたり、本日の視察も参考にさせていただければと思います。 |
| 吉永会長 | その他について、事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | <p><今後の日程について資料3に基づき説明></p> <p>今後の日程について、第2回目の開催を7月下旬に予定しています。次回の会議において、市長が諮問を行い、その後、3回目が9月下旬、ここで審議をしていただき、4回目の11月下旬に答申案を策定いただきたいと思います。答申案が出来上がりましたら、12月上旬に、吉永会長から市長へ答申いただきます。</p> |
| 吉永会長 | 以上、令和7年度第1回環境審議会を閉会とします。 |